



おもしろ児童館

児童館は、児童厚生施設のひとつで、0歳～18歳の子どもたちがあそび場・居場所として自由に利用できる施設です。あそびを通じ、心身ともに豊かな成長を育むことを目的としています。放課後や休日のあそび場のほか、行事やクラブ活動、未就学児の親子を対象とした「つどいの広場」を併せて開設している児童館もあります。那覇市内には現在11箇所の児童館が点在しており、那覇市社会福祉協議会では「小禄児童館」「識名児童館」「金城児童館」の3館を管理・運営しています。利用についての詳細は、各児童館へお気軽にお問合せください。

- 小禄児童館(つどいの広場ほのぼの) ☎098-857-5377
- 識名児童館(つどいの広場ランラン) ☎098-854-9656
- 金城児童館(つどいの広場さんさん) ☎098-859-0099

その他、市内児童館

- ・若狭児童館(つどいの広場よつば) ☎867-7266
- ・くもじにじろ館 ☎862-1889
- ・壺屋児童館 ☎863-8682
- ・国場児童館(つどいの広場ソレイユ) ☎855-2696
- ・大名児童館(つどいの広場うふな) ☎917-4069
- ・安謝児童館 ☎862-4341
- ・久場川児童館 ☎988-9448
- ・古波蔵児童館(つどいの広場にここ) ☎831-6786

遊びにおいで児童館へ!!

小禄児童館



小禄児童館の魅力は、なんといっても子ども達みんなの仲がいいところ!小・中・高校生がバスケ対決、乳幼児親子さんと小学生が交流などもよく見られる光景です。宿題を持参してお友達と一緒に勉強したり、好きな本や漫画をじっくり読んだり、思い切り体を動かしたり好きなことに没頭できる環境です。一番人気は、運動あそび。バスケやバレーのほか、バドミントン、乳幼児用の遊具も多数ありますよ。また、卓球台のほか、ピアノやほかの遊具も常設していますので、天気に左右されず好きなあそびをいつでも楽しむことができます。(担当:吉居)



小禄児童館
【開館日】月～日曜日(第3日曜日、祝日、慰霊の日、年末年始お休み)
【利用時間】10:00～18:00(12～13時は昼休み)
※5月5日こどもの日は特別開館しています!

識名児童館

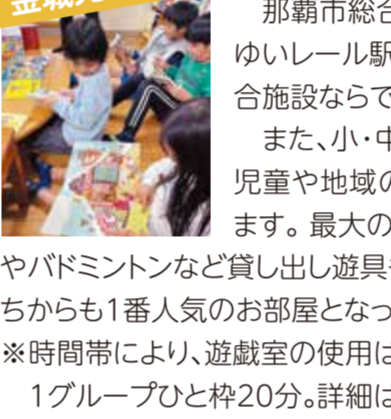


識名児童館は那覇を見渡せる高台に位置し、近くには世界遺産の識名園もあり、緑に囲まれたのどかな環境です。主に近隣の小中高生の子もたちが来館し、遊びを通し皆で仲良く過ごしています。魅力としては、天気の良い日は広いグラウンドで、野球・サッカーなど体を動かして遊ぶことができます。砂場やすべり台も整備しており、外遊びが充実しています。館内もとても広く、卓球やボール遊びがとても人気です。また、ゆったりとした環境の中で宿題をしたり、テーブルゲーム等のおもちゃで、ひとりひとりが好きな遊びを楽しむことができますよ。(担当:長嶺)



識名児童館
【開館日】月～日曜日(第3日曜日、祝日、慰霊の日、年末年始お休み)
【利用時間】10:00～18:00(12～13時は昼休み)
※5月5日こどもの日は特別開館しています!

金城児童館



那覇市総合福祉センター1階に設置されている児童館です。ゆいレール駅やバス停から徒歩圏内で利用することができ、複合施設ならではの利便性が備わっています。また、小・中・高校に隣接していることもあり、幅広い年齢の児童や地域の方が交流できる居場所として広く活用されています。最大の魅力は、広い遊戯室*天井も高く、ボールやバドミントンなど貸し出し遊具も充実しているので、運動好きな子どもたちからも1番人気のお部屋となっています。*時間帯により、遊戯室の使用は窓口での予約が必要となります。1グループひと枠20分。詳細は窓口にてご確認ください。(担当:村吉)



金城児童館
【開館日】月～土曜日(日曜日、祝日、慰霊の日、年末年始お休み)
【利用時間】10:00～18:00(12～13時は昼休み)
※5月5日こどもの日は特別開館しています!

つどいの広場事業

(那覇市地域子育て支援拠点事業)

小さなお子さんを連れてのお出かけ先はどこに行こうか悩んだりしませんか?小禄児童館、識名児童館、金城(かなぐすく)児童館では「つどいの広場」を開設し、子育て中の親子(未就学児とその保護者)が気軽に集いながら交流できる場を提供しています。担当の専門職員が子育てアドバイザーとして常駐し、親子で安心して過ごせる環境を準備してお待ちしています。室内遊具や月齢に合わせた玩具もそろっていますので、天候に左右されずにお友だちづくりや親子遊びを思いっきり楽しめます。

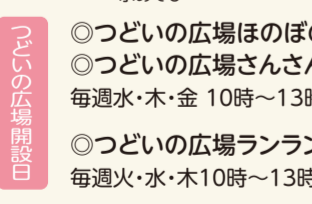
日常あそびの他、季節行事や制作活動、ベビーマッサージや親子体操などの育児講座も開催しています。事前予約の必要もありませんので、お子様のご機嫌やタイミングが良いときにぜひ1度、遊びにいらしてください。お待ちしております。(担当:村吉)



育児講座の開催



担当保育士による遊びの提供



水あそび

- ◎つどいの広場ほのぼの(小禄児童館)
- ◎つどいの広場さんさん(金城児童館)
- 毎週水・木・金 10時～13時(12時～13時の利用についてはご確認ください)
- ◎つどいの広場ランラン(識名児童館)
- 毎週火・水・木10時～13時(12時～13時の利用についてはご確認ください)

ファミサポ 支え合いの子育て支援

ファミリーサポートセンターは、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と援助を行いたい人(協力会員)が会員となって有償で援助活動を行う会員組織です。那覇市では設立から20年が過ぎ、会員数は令和6年3月末現在、総会員数が2906人で、開設当初から約14倍に増えています。新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」へ移行され、子どもたちの学校や働く親の環境も日常へと戻っていく中でニーズは高まり、習い事の送迎や親の外出時の預かり依頼が増加傾向にあります。活動拠点も協力会員の家庭だけではなく、児童館や子育て支援センターの活用で幅広く子育ての輪が地域へと広がっています。私たちアドバイザーは、地域の子育て中のパパやママを支える強い味方でありたいと思います。コーディネートをしています。(担当:青木)



保育サービス講習会2月 救急救命

子育て世帯訪問支援事業 訪問支援員業務

これまで本会において「育児支援家庭訪問事業」の名称で、身近に子育ての協力者がいない世帯に家庭支援員を派遣しており、その中で育児の悩みを伺い、それにアドバイスするなどの事業を展開しています。令和6年度から、国の方針に基づき、同事業の名称が「子育て世帯訪問支援事業訪問支援員業務」に変更されます。基本的には現在の事業を引き続き行います。新たな取り組みについては、今後行政と協議・調整してまいります。(担当:上原)

元K1トップ選手

アーネスト・ホーストさんが子ども食堂♪

3月16日(土)、子ども食堂「美食蔵」が開催したイベントで、K1全盛期に「ミスターパーフェクト」と呼ばれたアーネスト・ホーストさんが出身地オランダ風のちゃんこ鍋(えんどう豆ペース)100人分を作り、地域の子ども達に振る舞いました。エンドウ豆のつみれが入った特製ちゃんこ鍋をニコニコと美味しく食べる子ども達をよそに、K1黄金時代を知る僕ら大人は緊張MAX!!憧れの選手を目の前に、感動で手は震え、心臓もバクバク。緊張しながらも、ちゃっかり握手してもらいました。アンディフグ、ピーターアーツ、ジェロムレバンナ、マイケルナルドといった選手や、奮闘する佐竹雅昭選手を懐かしく思い出し、とっっても貴重な経験となりました。(担当:嶺井秀治)



新着情報

「なは社協だより」がリニューアル!ポスター版も!!

広報誌「なは社協だより」が5月号から新しくなりました。「伝わりやすさ」をより意識して写真や文章、デザインを組み立てるほか、より多くの人に「福祉のまちづくり」情報を届けるためにポスター版を新たに創刊します。デザインや発行は丸正印刷株式会社を担当。冊子版5,000部は会員や公共施設などに配布し、ポスター版600部はこれから、まちかど掲示板や公共空間での掲示を依頼していきます。ポスター版の掲示に協力いただける方は、QRコードから申し込みをお願いします!



なは社協 相談窓口のご案内

ふれあい福祉相談室 ☎ 857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士専門相談・弁護士専門相談があります。(秘密は厳守で相談は無料です)

生活福祉資金貸付事業 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付

司法書士専門相談 毎月第2金曜日/午後2時～4時 予約制
弁護士専門相談 奇数月第4金曜日/午後2時～4時 予約制

ボランティア活動・行事用保険 ☎ 857-7766

ボランティア活動・行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償を補償します。

デイサービスあしびなー ☎ 080-1739-1355

利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

障がい者生活支援センター「ゆいゆい」 ☎ 891-8454
FAX.857-6052
在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていけるように支援をしています。
●ピア(同じ仲間)サポート ※本事業は9月末で廃止予定

地域福祉権利擁護センター ☎ 857-4525
FAX.857-6052
日常生活自立支援事業
認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで、自分で判断することが難しい方々の福祉サービスの利用手続きや、医療費・公共料金の支払い等の日常的な金銭管理のお手伝い、書類の預かりサービスを契約に基づいて行っています。

居宅介護支援事業 ☎ 891-8236
FAX.859-8388
安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業者等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援を行います。

ホームヘルプステーションわかば ☎ 859-8383
FAX.859-8388
ご自宅に介護専門職が訪問し、身体介護及び生活支援サービスを提供します。
●訪問介護
●総合事業
●障がい福祉サービス

能登半島地震災害支援に行って参りました!

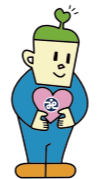
1月1日に発生した石川県能登半島地震のため、2月中旬に金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで介護ボランティアを行ってきました。

スポーツセンターには介護の必要な方や施設などで被災した方が、次の生活拠点を見つけるまでの待機所として避難されていました。被災者の方は、ボランティアの私達に「遠い所からご苦労さんね、ありがとう」と温かい言葉をかけてくださいました。

体育館内での避難所は、水道やトイレが近くになく、プライバシーの確保もままならない状態で、環境整備は大きな課題だと感じました。

能登半島の大半はまだ復興の目途が立たず、1月1日のままの状態な場所も多くあります。

被災者の皆様が、一日も早く元の生活に戻れるようお祈り致します。(担当・在宅福祉課ホームヘルプステーションわかば金城優子)



Instagram, Facebook, X (Twitter) やってます!
チェックしてみてください!

